

「地元で一番の職人で心を込めてリフォームをする」  
そして、お客様とは一生付き合っていく。

そこにこだわるからこそグランディアホームなのだと思う。

代表取締役 村上 仁

職人を選びすぎり、地元で一番の職人でリフォームをする。  
こんなことはきくと、リフォームをする方からすれば当たり前と思うことだろう。  
しかし、実際は、この当たり前のことがリフォームでは行われていないのです。

当社でリフォームを終えたお客様の感想で多いのは、  
職人の働きぶりを名指しで褒め喜んでいただく感想が多いことです。  
もちろん職人以外の営業担当者などをお褒めいただくこともあります。  
しかし、その量は圧倒的に職人が多いのです。

一度、リフォームをさせて頂いたお客様とは一生お付き合いをしたいと考えています。  
だからこそ、工事が終わった後のアフターメンテナンスも重要視しているのです。  
定期的なメンテナンスは当然で、「何かあったら、すぐに駆けつける」をモットーにしています。  
同業者からは、効率が悪いとか珍しいと言われるが、これからも続けていきます。

これが私たちが地元佐倉市を始め、近隣市町村でリフォーム工事実績が一番となった理由です。

職人が良いのは分かった。しかし、リフォーム費用が高くなるのではないだろうか？  
そう疑問に思う方もいらっしゃると思います。

たしかに、リフォームをする時にお支払い頂く費用は少し高いかもしれませんが。  
でも、長い目で見れば圧倒的に安くなります。

それも、新聞チラシに「大安売り」を謳っている会社と比べても、  
圧倒的に安いと断言することが出来ます。

大安売りを謳っている会社は所詮、効率化や工夫して安くしているのではなく、  
単に安い材料や、未熟であったり腕の悪い職人を使って工事をしているだけなのです。

また、安く仕事をするので、短く無理な工期の仕事になり職人にしわ寄せが来ることが多いと聞きます。  
そして、そのために仕事が雑になり、クレームが多くなるというのが実態です。

リフォームがクレーム産業といわれる所以は、こういったことが原因であると考えると非常に悲しくなります。

当社の職人のように、高い技術力と経験を持ち合わせているからこそ、  
材料本来の良さ・効果・耐久性を発揮することができます。

「職人ありき」であるはずなのに、どこのリフォーム会社もそこを疎かにしています。  
腕の良い職人どころか、職人自体が年々減っているのだから、

良い仕事をするということに意識的であれば、そうなって行くのも当たり前なのかもしれません。  
だから、職人の技術力の低さを営業マンの口八丁手八丁で補うことに躍起になっているのでしょう。

工事が始まると、すぐに営業マンのメッキが剥がれ、酷いリフォームになり、  
お客様が被害を被ることになってしまふ。

結局は、職人より優先するものは無いのです。

だから、もし腕の良い職人たちが私から去っていったら、私はリフォーム会社を辞めるでしょう。  
今、一緒に仕事をしている職人がいなければ、私が考えるリフォームをお客様に提供することは出来ません。

私は佐倉市の方だけに、私たちのリフォームをご提供できれば良いと考えています。  
勝手な言い分かもしれないが、私の小さな器量とうちの数少ない厳選した職人で手広くやれば、  
地元のお客様が困った時にすぐに駆けつけることが出来なかつたり、  
多少なりとも今よりは出来ないことが増えて、迷惑を掛けることになります。

だから、うちは「佐倉のリフォーム屋」で良いのです。

私は腕の良い職人達とこれからも、まごころを込めたリフォームを続けます。

真剣にリフォームをお考えの方のために。グランディアホーム株式会社